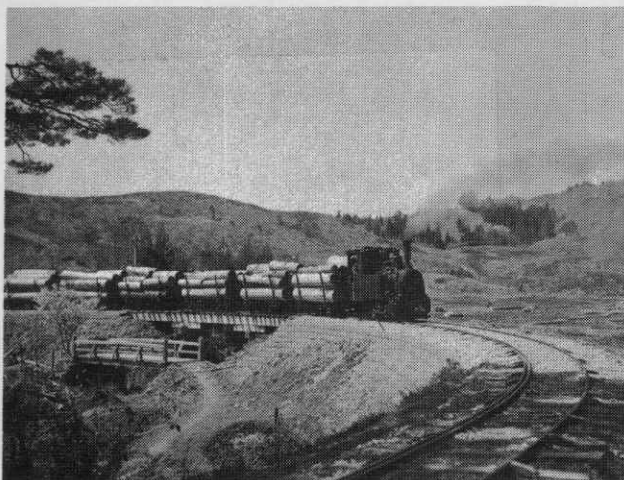


わたくしたちの町
人口 男 4,965人
女 5,371人
計 10,336人
8月中の転入 23人
転出 39人
世帯数 2,208世帯

広報 あいかわ

合川町広報
No.179
発行日・45.10.28(2,700部)
発行・秋田県北秋田郡
合川町
合川町役場
編集・総務課

税金は
納期限内に
町民税 三期
保険税 三期
納期限は十一月三十日



森林鉄道感謝祭

11月10日に挙行

大正13年に開設されて以来50年、ひたすらに秋田杉を運び続け、時には私たちの唯一の乗物としても重宝がられた森林鉄道が、現代のホープトラック輸送にバトンタッチをして廃止されることになりました。

合川営林署では、長い間地域社会の発展につくした労にむくいるため、ゆかりの地天神貯木場で感謝祭をとり行ない、長い歴史に終止符を打つことにしました。

秋深まる

一割減反のあおりをよそに、ことしは記録的な好天に恵まれ、史上最高の豊作。農家にとって、これ程の喜びはないはずですが……？

たんぼでは脱穀も終りに近づき、男手は遠い地に出稼ぎに消え、いかにも「秋深し」の感があります。

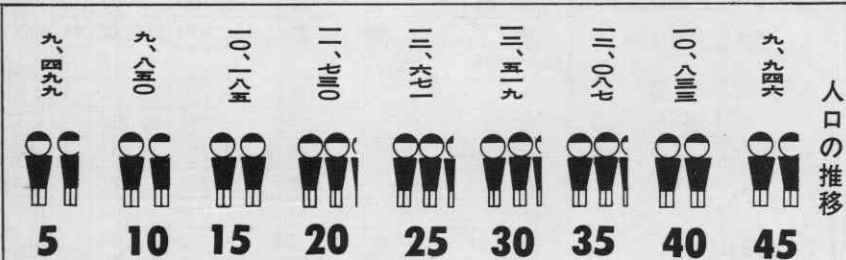
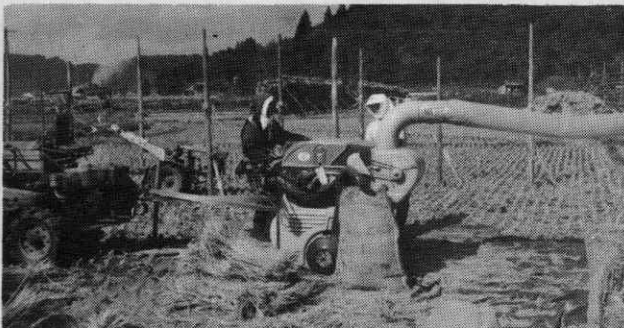


Table with 5 columns: 部 落 別 (Village), 40年 (40th year), 45年 (45th year), 比 較 (Comparison), 比 率 (Ratio). Rows include various villages like 李 岱, 羽 根 山, 羽 立, etc.

各会計決算を認定
九月定例会 十二議案も可決
九月定例会は去る九月十八日招集され同二十四日閉会しましたが、当局から提案された十二議案を原案通り可決、また昭和四十四年度各会計決算もそれぞれ認定されましたが、その主な内容は次のとおりです。

工業団地の敷地を先行取得
これは八月臨時議会で議決した大野台工業団地の敷地指定を受けようとする計画に基づいて今年度四九・九ヘクタールの敷地を先行取得するものです。
財産(土地)の取得について
これは八月臨時議会で議決した大野台工業団地の敷地指定を受けようとする計画に基づいて今年度四九・九ヘクタールの敷地を先行取得するものです。

教育委員、小野安之助氏の任期が満了になったので、小野氏を再任したという町長の提案に満場一致で同意を与えたものです。
昭和四十五年合川町一般会計補正予算(第三号)
これは、これまでの予算額に千六百九十二万円を追加し、歳入歳出それぞれ四億八千五百四十四万円に補正したものです。
国勢調査人口(推定)
九、九四六八(推定)
五年間に八八七人減る
国勢調査は、統計法の定めによって行なわれる国の最も基本的な調査で、人口や世帯数ばかりでなく、年齢別、配偶の関係別、産業別、職業別などの人口の構成や世帯の構成を明らかにして、政治や行政に直接役立つ資料を得るために行なわれたものです。

ご寄付
老人憩の家に
▽金貳拾万五千元也
小畑設計事務所 小畑 勇
▽金貳万円也 合川町建設
技能組合代表 小林敬治
▽米倉印刷社長 米倉幸美
敬称略

Table titled '国勢調査の結果速報 (45.10.1)' with 5 columns: 部 落 別 (Village), 40年 (40th year), 45年 (45th year), 比 較 (Comparison), 比 率 (Ratio). Rows include 道 城, 上 杉, 下 杉, etc.



町民のみなさんが納めた税金やその他町の収入がどのように使われているか、また町政がどんな方向にあるかなどを詳しく知っていただくために町の財政状況を報告し、町政への正しい理解によって明るく住みよい町づくり、さらにご協力をお願いします。

このたびは、昭和四十四年度決算と、昭和四十五年度予算の状況を主体とした町財政の実情を報告します。

ことしの予算

ことしの予算は六つの会計にわかれ、その総額は九月末現在で六億九千五百九十九万円です。昨年同期と比較すると三十二・八%の伸びとなり、六会計のうち、名称、金額、割合は第一図に示すとおりであり、また一般会計の収入、支出の内容を二図で示すと第二図のとおりであります。



億八千六十二万三千五百五十四円で歳出の合計五億七千二百五十三万二千七百七十二円を差引きますと八百八万九千八百三十二円の黒字となりました。

また一般会計の内容は、第二表のとおりであります。が、建設事業等に対する投資額は一億五千七百四十五万七千円にのぼるほか物価値上りに伴う物件費の増加給与の引き上げなど財政運用にかなりの困難があったにもかかわらず、納税者みなさんのご協力による納税率（第五表）の向上その他の収入確保により六百七十三万八千三十二円の黒字を

◇交通安全対策費
 百二十九万九千円
 ◇成人病対策費
 百十一万二千円
 ◇土地改良及地籍調査費
 千二百八十万円

**前年度の決算
 健全財政を堅持**

昭和四十四年度の決算は去る九月定例会で承認されましたが、一般会計のほか特別会計の合計は歳入五

示すものであります。この納税成績の向上をもたらし、している中心は納税貯蓄組合であります。

納税組合の結成状況は第六表のごとく各部落に組織され百五十組合、千九百四十、二世帯、九〇・三％の加入となっています。

この組合員たちは、毎年度の町税を納期限ごとに自主的な完納をつづけ組合によって納期限前の完納をはかるなど町財政に大きく貢献しています。

町税の徴収率
九九・五%

納税成金の良否は、町づくりのパロメーターといわれていますが、わがまちの納税状況は、第三表でわかるように九十九・四八%を示し県内でも上位にランクされておりますが、これは町民の方々が町づくりに参加協力する姿勢を積極的に

本年度の主な事業とその予算

一般会計のうち主な事業
およびその事業費は、次のとおりであります。

(単位千円)

- ◆北保育園建築 千七百五十六万二千元
- ◆老人憩の家建築 千八十七万八千元
- ◆東小学校建築費 四千三百二十一万九千元
- ◆東小学校プール建設費 六百十九万五千元
- ◆町営林造林費 二千四百十九万九千元
- ◆林構及び林道改良事業費 千四百五十三万四千元
- ◆道路新設改良費 九百二十八万円
- ◆災害復旧事業 二千七百二十五万九千元
- ◆消防庁舎建築等の負担 千六百八万二千元
- ◆除雪車購入 五百五十八万円

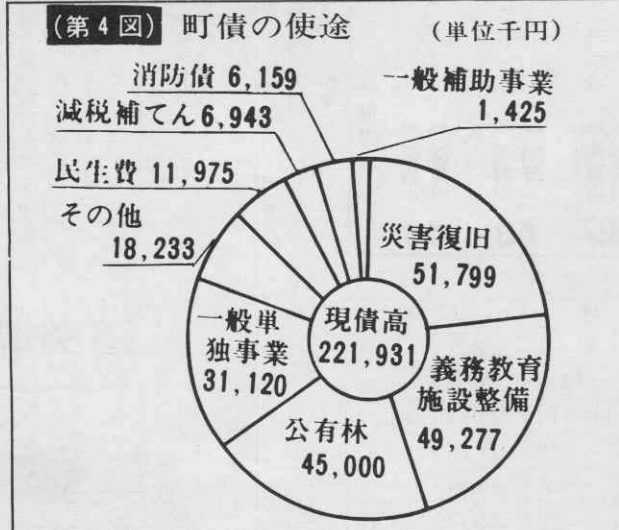
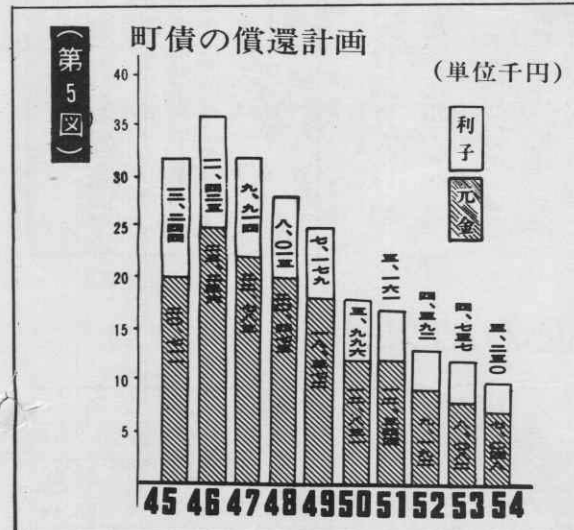
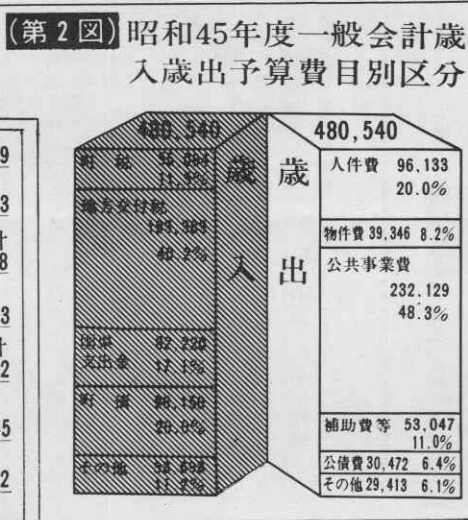
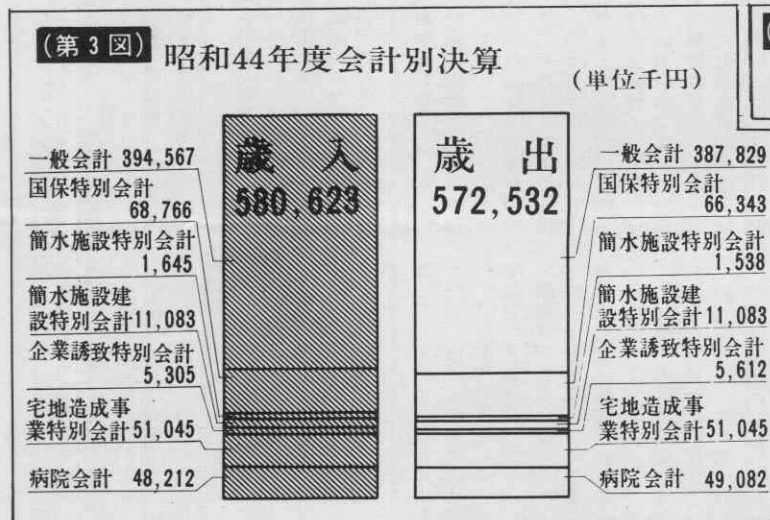
町債

各種事業に 二億二千万円

昭和四十四年度決算時現在
の起債の総額は、二億二千
百九十三万一千円であり
ますが、この町債がどんな事
業に使われたものであるかは
第四図が示すとおりであ
ります。

これは借りたものですの
で返済しなければならな
いことは当然であります
が、今後十年間における償
還は第五図のとおりとな
ります

しかし、この町債のうち
災害復旧及び減税補てん
債等、その償還額の大部分
が国から地方交付税、補助
金により措置される起債並
に住民に転貸されている起
債千九百五十万五千円が含
まれています。



一般会計予算の内容 (第1表)
(45.9現在)(単位千円)

款 別		予 算 額	比 率	
町	税	55,094	11.47	5,330
自動車取得税	交付金	5,158	1.07	499
地 方	交 付 税	193,383	40.24	18,710
交通安全対策特別	交付金	72	0.01	7
分 担 金 及 び 負 担 金		4,549	0.95	440
使用料及び手数料		2,048	0.43	198
国 庫	支 出 金	54,248	11.29	5,248
県	支 出 金	27,972	5.82	2,706
財 産	収 入	5,607	1.17	542
寄 附	金	11,676	2.43	1,130
繰 入	金	4,500	0.94	435
繰 越	金	3,000	0.62	290
諸	収 入	17,083	3.55	1,653
町	債	96,150	20.01	9,302
歳 入	合 計	480,540	100.00	46,490

〔歲 出〕				
議 會 費	11,979	2.49	1,159	
總 務 費	98,738	20.55	9,553	
民 生 費	72,796	15.15	7,043	
衛 生 費	18,274	3.80	1,760	
勞 働 力	1,098	0.23	106	
農 林 水 産 業 費	59,774	12.44	5,783	
商 工 費	450	0.09	44	
土 木 費	23,743	4.94	2,297	
消 防 費	24,388	5.08	2,360	
教 育 費	106,441	22.15	10,298	
災 害 復 旧 費	27,502	5.72	2,661	
公 債 費	30,472	6.34	2,948	
諸 支 出 金	4,185	0.87	405	
予 備 費	700	0.15	68	
歲 出 合 計	480,540	100.00	46,493	

(第2表) 昭和44年度決算分析 (一般会計)

歳 入		(単位千円)		町民 ¹ 人当り
款	別	決 算 額	比 率	
町	税	46,454	11.77	4,494
自動車取得税	交付金	4,651	0.12	476
地方	交付金	156,387	40.61	15,130
交通安全対策	特別交付金	72	0.02	7
分担金及び負担金		4,937	1.17	478
使用料及び手数料		2,019	0.51	195
国庫	支出金	51,555	13.14	4,988
県	支出金	17,073	4.33	1,652
財 産	収 入	19,966	5.06	1,932
寄附	金	14,347	3.64	1,388
繰越	金	2,216	0.56	214
諸	収 入	15,590	3.95	1,508
町	債	59,300	15.12	5,733
歳 入	合 計	394,567	100.00	38,143

歲 出			(單位千円)		
款	別		決 算 額	比 率	町民 一人当り
議 會	費		10,541	2.72	1,020
總 務	費		68,115	17.57	6,590
民 生	費		52,402	13.51	5,070
衛 生	費		24,730	6.38	2,393
勞 働	費		875	0.23	85
農 林 水 産 業	費		50,140	12.93	4,851
商 工	費		370	0.10	36
土 木	費		24,544	6.33	2,375
消 防	費		7,117	1.84	689
教 育	費		65,289	16.83	6,317
災 害 復 旧	費		40,123	10.34	3,882
公 債	費		29,838	7.68	2,887
諸 支 出	金		13,745	3.54	1,330
歲 出 合 計			387,829	100.00	37,525

昭和44年度一般会
計歳出性質別分類 (第6図)

(單位千円)						
人	件	費	86,958	22.4%		
扶	助	費	8,081	2.1%		
公	債	費	29,792	7.7%		
物	件	費	38,978	10.1%		
維	持	補	修	費	7,133	1.8%
補	助	費	41,820	10.8%		
積	立	金	1,168	0.3%		
投資及び出資金、貸付金			357	0.1%		
繰	出	金	16,085	4.1%		
投資的経費			157,457	40.6%		

(第3表) 昭和44年度町税の納税状況 (単位千円)

税 目	調定額	収入済額	徴収率	一世帯当り	町民1人当り
町 民 税	10,717	10,636	99.24	4,854	1,037
固定資産税	17,916	17,791	99.30	8,114	1,733
軽自動車税	2,338	2,301	98.45	1,059	226
たばこ消費税	7,696	7,696	100.00	3,486	745
電気ガス税	3,238	3,238	100.00	1,466	313
木材引取税	4,792	4,792	100.00	2,170	464
計	46,697	46,454	99.48	21,149	4,518

工費3,989万円で着工
竣工も間近い東小学校の2期工事

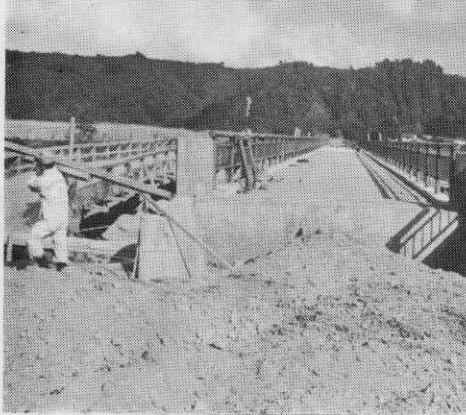


おもな事業
これまで実施された事業
や、いまおこなわれている事業はそれぞれ図や表で示すとおりですが、その主な事業をカメラで紹介いたします。

(第4表) 町税(1人当り5,330円)の内容 (昭和45年度分)

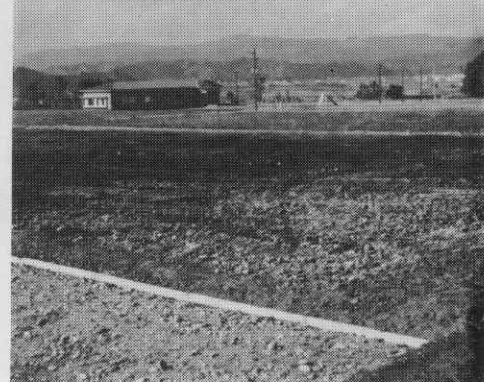
税 目	税 額	比 率	町民1人当り
町 民 税	千円 16,539	% 30.0	円 1,600
固定資産税	19,792	35.9	1,915
軽自動車税	2,626	4.8	254
たばこ消費税	8,230	14.9	796
電気ガス税	3,601	6.5	348
木材引取税	4,306	7.9	417
計	55,094	100.0	5,330

11月末日に完成予定の
根田橋の永久橋工事



駅前の分譲宅地団地

総工費5,104万円を投じて、2万7千平方
宅地が誕生メートルの



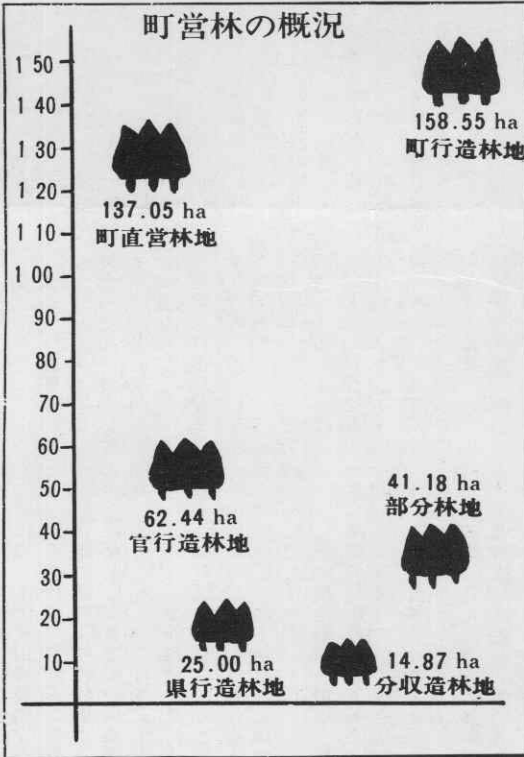
(第8図) 町有財産 (単位千円)



国民健康保険事業特別会計は、昭和四十四年度の決算で二百四十二万二千円の黒字をみるにいたりしました。これは客観的状況から、当初はかなりの赤字が見込まれておりましたが、国庫補助金をはじめ、予定より二百万円増えたこと、医療費の給付が意外に伸びなかつたこと等が原因に挙げられます。しかし、直接住民が負担する保険税の引き上げも含まれてはおりませんが、赤字運営から健全財政に移行できたことは喜ばしいことだと思ひます。

現在における被保険者は千五百六十一世帯、六千二百七十八人であり、これらの人々の健康を守るために今年度も七千八百四十六万八千円の子算が組まれています。

(第7図) 町営林の概況



(第5表) 納税貯蓄組合の設立状況

部落名	組合数	加入世帯数	加入率
道 城	6	80	100.0
上 杉	10	144	87.6
下 杉	7	92	91.8
駅 前	11	163	87.7
川 井	8	150	88.8
桃 栄	1	20	100.0
弥 栄	1	10	90.9
金 沢	1	12	90.3
梅 栄	1	11	100.0
李 岱	11	212	97.2
羽根山	5	84	77.7
福 田	1	24	70.5
新田目	4	77	92.9
羽 立	2	25	100.0
杉山田	3	52	100.0
雪 田	1	23	100.0
鎌 沢	3	91	98.9
三木田	3	64	80.0
摩 当	2	30	100.0
三 里	4	79	88.5
大内沢	1	16	100.0
芹 沢	3	44	86.5
東根田	2	53	93.0
西根田	4	58	95.1
八幡登	4	58	82.9
木戸石	10	153	89.5
増 沢	5	92	97.9
美 栄	1	25	96.1
計	115	1,942	9090.3

昭和44年度町立合川 (第7表)

病院事業損益計算書

(単位千円)

1. 医業収益		
(1)入院収益	15,093	
(2)外来収益	25,449	
(3)その他の医業収益	725	41,267
2. 医業費用		
(1)職員給与費	21,838	
(2)材料費	17,113	
(3)経 費	4,004	
(4)減価償却費	2,167	
(5)資産減耗費	28	
(6)研究研修費	23	45,173
医業損失		3,906
3. 医業外収益		
(1)受取利息	24	
(2)他会計補助金	4,104	
(3)その他の医業外収益	41	4,169
4. 医業外費用		
(1)支払利息	1,056	1,056
当年度純損失		793

昭和44年度国民健康 (第6表) 保険特別会計決算

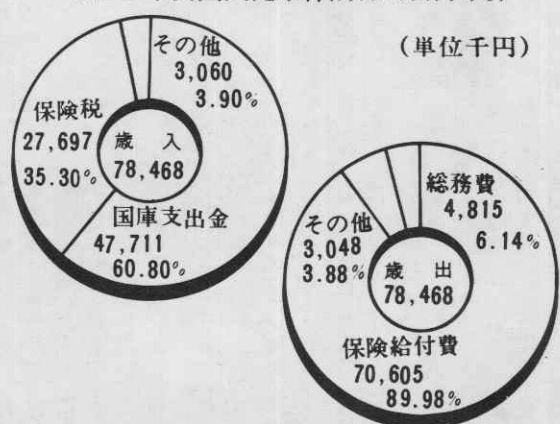
歳 入

款 別	決算額	比 率	1 世帯当り
保 險 税	千円 22,563	% 32.82	円 14,093
国庫支出金	44,133	64.17	27,566
そ の 他	2,070	3.01	1,293
計	68,766	100.00	42,952
歳 出			
性 質 別	決算額	比 率	1 世帯当り
人 件 費	4,275	6.44	2,670
保険給付費	58,431	88.07	36,497
保険施設費	56	0.08	35
そ の 他	3,582	5.41	2,237
計	66,344	100.00	41,439

昭和四十四年度の決算内容は第9表、四十五年度の決算は第9図のとおりです。

(第9図) 昭和45年度国民健康保険特別会計予算

(単位千円)



豚肉、卵、又低血圧。それにキノコ類もおいし